

鳥羽市の豊かな歴史遺産と、文化財の調査や保全を担当する文化財専門員の活動を紹介します。

文化財
コラム
Vol.8

鳥羽のきらり 歴史遺産語り

教育委員会生涯学習課 TEL 25-12268

知られざる
鳥羽の魅力を
たっぷり
お届けします!



豊田祥三
鳥羽市文化財専門員

シンポジウム「九鬼氏ゆかりのまちサミット in 綾部」が開催されました!

みなさんは、鳥羽と京都府の綾部市がある点でゆかりがあることをご存じでしょうか。

実は、鳥羽城を築城した九鬼氏は、嘉隆の跡を継いだ当主、守隆の跡取りをめぐる家中で紛糾して幕府の裁定を仰ぐことになりました。その結果、鳥羽から摂津三田(現在の兵庫県三田市)と丹波綾部(現在の京都府綾部市)の二手に分けられて移動させられてしまったという歴史があるのです。山間のまちに移動したことにより、九鬼氏は水軍として活躍することはありません。綾部市は、九鬼氏の転封先の一つなのです。

昨年の10月21日に、綾部

市で「九鬼氏ゆかりのまちサミット」というシンポジウムが開かれました。この催しは九鬼氏ゆかりのまちである綾部市のほか、綾部九鬼家の末裔である九鬼家隆宮司、兵庫県三田市・鳥羽市の関係者が集まって行われました。

九鬼氏ゆかりの縁といえば、鳥羽市は三田市と2011年に友好都市提携を結んでいます。綾部市は室町幕府を開いた足利尊氏生誕の地と伝えられることや、信長を裏切った明智光秀とゆかりがある地ということもあり、これまで九鬼氏について光が当てられることは殆どありませんでした。

しかし、近年、マスメディアなどで九鬼水軍が取り上げられたことなどの要因もあり、綾部でも少しずつ注目されるようになってきました。そのような中で綾部市で九鬼

氏に関する催しが開かれたことは非常に意義深いことだと思えます。

特に、綾部藩に移動した九鬼氏の家臣団については、不明な点が多く、資料が乏しい状況です。綾部市やその周辺に資料が残っていないのか今後の調査が期待されます。

綾部市との繋がりができたことで、今後の調査の進展も期待できるかもしれません。



シンポジウムの様子



鳥羽市の文化財

鳥羽市が誇る四季折々の「鳥羽」を漁協さんがご紹介!

3月

旬の
とば

鳥羽とば

vol. 15

観光商工課観光係 TEL 25-1157
農林水産課水産係 TEL 25-1167



メバル

ルが春の訪れを告げるように春先一番に沿岸に現れる魚として、古くから親しまれてきたためです。

鳥羽では、主に釣り・カゴ・網漁で水揚げされています。伊勢湾と外湾の影響で潮の流れが速く、表情が日々変わる鳥羽の海で育ったメバルは身が締まり、脂がほどよく乗っています。やさしい甘みと後に残る旨みは、まさに鳥羽の海そのものの味と言っても過言ではありません。

メバルは漢字で「眼張」と書き、その名は大きく張り出した目に由来していると言われていています。一口にメバルと言っても、シロメバル(黒色)・アカメバル(金色)・クロメバル(青色)の3種類に分けられます。岩礁域に多く生息し、群れで泳ぎ回り、時にはホバリングするように体を垂直にして立ち泳ぎをすることもあります。

メバルは、刺身にすれば上品な味わいに、唐揚げにすれば身の甘みが引き立ち、煮付けにすれば白い身に味がしっかりと染み込みます。焼いても汁物にしても、どんな調理にもきちんと応えてくれる、失敗しにくい万能な魚です。当たり前にあるからこそ、守りたい。これからも変わらず魚屋に並び、飲食店で提供され、鳥羽の食卓にあり続けてほしい1匹です。